



コスモス

NO.25

校訓：支え合い 学び合い たくましく
学校教育目標

「ふるさとを愛し 志をもって
チャレンジする人を育てる」

防災訓練

体験は大事！体験しておくのとしておかないのとでは全く違う！！と強く思いました。

丸亀市川西地区自主防災会の全面的なご支援を頂き8年目を迎える防災訓練を、今年も6年生が訓練を体験し、下級生はその様子を見学して学びました。

訓練の種類は、5種類でした。〈ロープワーク〉本結びを練習した後、新聞紙や本等を束ねるくくり方を学びました。マジックテープなどが普及していますが、ひもをくくることが身に付けておくことは必要だと感じました。〈毛布担架組立・搬送〉毛布だけを使って簡易担架を作り、1人の人を6人で運びました。動けない人がいる時に有効だなあと感じました。〈水消火器による消火〉消火器を使ったことがある人は少ないと思います。一度でも体験しておくことで、いざという時に自信をもって使えると感じました。〈応急手当〉腕を骨折等したとき、本や新聞紙を添木にしてシャツを三角巾代わりに、腕を吊る方法を学びました。救急用品がなくても、近くにあるもので対応する方法を体験しました。〈災害用トイレ組立〉トイレの水洗が使えない時、本当に困ると思います。簡易トイレはホームセンター等で販売されているようです。

訓練の終わりに、自主防災会の岩崎会長さんから、「いろいろな地域や場所に行ったときに、どこに避難所があるのか、どこが危険なのか等をよく見るようにするとよい。そうすることで、知らない場所で災害にあった時に対応できる。」というお話を頂きました。また、財田小学校について、「これだけのすばらしい環境の学校は全国にも多くない。このすばらしい学校でしっかりと学んで、さすが財田の子だという力を発揮してがんばってほしい。」という言葉も頂きました。岩崎会長さんは、財田小学校に来られるたびに、環境のすばらしさ、特に、玄関から見える広々とした運動場とその向こうに見える阿讃の山並みの美しさに感動されています。このすばらしい環境の中で子どもたちとともに学ぶことに感謝し、みんなの人の命を守る防災の学習や訓練に、しっかりと取り組んでいきたいと改めて思いました。

ロータリーの花壇のコスモス

正門を入れて校舎に向かう途中のロータリーのコスモスが咲き始めて2日目ぐらいの日の朝、登校してきた4年生の美化緑化委員会の1人の男の子が、「コスモスが咲いています。」と私に伝えてくれました。「そうやなあ。見つけたんやなあ。委員会でお世話してくれてるからやなあ。」担当として水やりの世話をしている子なので、関心をもっているんだなあ、ととてもうれしくなりました。

その後、1時間目に教室を回っていて、1年生の教室に行くと、国語で『はっけんしたよ』という勉強をしていました。大前先生が「財田小学校にはどんなお花が咲いていますか？」と問いました。すると「コスモスです。」と多くの子が答えました。「何色のコスモスがありますか？」と問うと、1人の女の子が「濃いピンクと薄いピンクです。」と答えました。その通りなのです。その日の朝は3輪程咲いていて、薄いピンクが2輪、濃いピンクが1輪咲いていたのです。以前プランターで咲いていたコスモスの「白です。」と発表した子もいました。オレンジ色のコスモスの方がたくさん咲いているのですが、「ピンクや白」を見つけたり覚えていたりする1年生の子どもたち。お花をよく見ているなあと感心すると同時に、心が温かくなり、うれしい気持ちになりました。ロータリーの花壇のコスモスは、今から花盛りを迎えます。

